



# 桜井谷小学校だより

令和5年（2023年）1月10日

1月号

あけましておめでとうございます  
今年もよろしくお願ひいたします



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

今年卯年、うさぎのようにぴょんぴょんと元気に飛んで飛躍の年にしたいものです。学校には、数年前までうさぎ小屋がありました。

まだ校長先生が先生になりたての初任校でのうさぎの思い出がたくさんあります。当時、飼育委員会を担当していて、ある日小屋の中にかわいいうさぎが出てきてびっくりしたこともありました。うさぎは穴を掘って赤ちゃんを産んでいたのです。白いもふもふした毛がうさぎ小屋にあったので、毛がぬけて生え変わるのかな？と聞いていましたが、赤ちゃんのために自分のお腹のふわふわした毛をむしって、温かい赤ちゃん用のベッドを作っていたようです。ちょうど冬だったと思います。お母さんうさぎは、寒い冬に暖かく安全に子うさぎが育つように一生懸命に穴を掘って自分の一番柔らかい暖かい毛をぬいていたのでしょう。

大切に命を育てていたうさぎさんたちを今も思い出します。なので、小屋がせまいくらいうさぎが増えて、他の学校にももらっていただいたこともありましたよ。

卯年、ぴょんぴょんとそして生命を大切に、たくさん良いことがある一年になりますように…



この今も闘っている  
医療現場のためにも。



学校ホームページ  
こちらから⇒



3学期です。次の学年のステップに！

「やればできる」をつみかさねましょう。

「どうせ、むり～」なんて思っていませんか。それくらい、できないことや難しいことがあると、とてもしんどい気持ちになりますよね。よくわかります。失敗したり、悩んだり、なんで自分ってだめなんやろ～って。でも、私たちの心の中には、「レジリエンス」といって落ち込みから立ち直る力があるのです。

『「逆境のなかでも力強く生きる子どもたち」

世界には、貧困や虐待、戦争など良くない環境に生まれ育つ子どもたちがいます。…中略…しかし、そんな悪い環境のなかでも素直に元気に育っている子どもも少なくないことが分かってきました。

「災害から立ち直る人びと」

震災など大きな災害が町をおそうと、当初はほとんどの人が絶望の淵に突き落とされ、悲しみのあまり気力を失ったり、心を閉ざしてしまったりする人も出てきます。しかし、むしろ多くの方は、少しずつ立ち直って、復旧、復興に向けて歩みはじめます。それは人がレジリエンスという心の回復力をもっているからです。

「ストレスを乗り越える」

いやなことがあっても、時間がたてば少しずつ忘れることができます。勉強や練習や仕事など緊張と努力の必要なことにも耐える力があります。それもレジリエンスのひとつです。』（「元気・しなやか・へこたれない心を育てる56のワーク」上島博著（合同出版）より

だれもが持っているレジリエンスという力を信じて、少しずつ、前へ前へと歩いていけるといいですね。ひとりでがんばらず、お友だちや先生方、地域の方々とともに、成長できる3学期にしていきましょう！

学習参観「オープンスクール」は1月25日(水)に行います。

1時間目、8時50分から清掃の時間（13時25分まで）に行います。

子どもたちは5時間目終了後（14：30頃）下校します。

混雑を緩和するため、可能な限りの分散をお願いいたします。授業は1時間のみの参観をお願いします。ご来校の際はネームプレートを付けていただき、正門からお入りください。新型コロナウイルス感染拡大状況等により予定を変更する場合は、コドモンでお伝えいたします。ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。